



新生・松田中学校開校式

第1回定例会の概要・総合計画の審査 … 2	議案審議結果一覧 … 9
予算質疑 … 4	一般質問 … 10
産業厚生常任委員会の審査概要 … 7	議員行政視察報告 … 15
総務文教常任委員会の審査概要 … 7	住みやすい町を目指して③⑦ … 16
条例・補正予算・同意など … 8	

平成31年度 9会計の予算を可決 総額81億8,421万円

前年度対比 1億5,278万円の減

平成31年度の一般会計及び特別会計予算が提案され、3月8日、11日、13日、15日に予算の審議が行われました。このうち一般会計予算は、議員11名で構成される予算審査特別委員会を設置し、そこに付託して13日に副町長・教育長以下、参事・課長職から係長職の職員40余名出席のもと詳細に審査が行われました。この審査の結果は、15日の本会議で特別委員会報告（4ページ参照）が行われ、予算総額48億8千万円の一般会計予算が、採決の結果、原案のとおり賛成多数で可決されました。

また、平成30年第4回定例会で提案され、特別委員会で審査していた第6次総合計画基本構想及び基本計画は、閉会中及び本会期中の審査の結果、特別委員会報告（次ページ参照）が行われ、本会議で討論の後、採決が行われ、原案のとおり可決されました。

平成31年 第1回定例会

会期 3月5日(火)～15日(金)

3/5	一般質問 利根川議員・井上議員 (P10) 小澤議員・飯田議員 (P11) 平野議員・田代議員 (P12)
3/6	一般質問 齋藤議員・南雲議員 (P13) 大館議員 (P14)
3/7	委員会審査 特別委員会 1件(総合計画) 議案審議等 承認 1件(専決処分)、議案 11件(条例 新設・条例改正・指定管理者・補正予算)
3/8	委員会報告 特別委員会 1件(総合計画) 議案審議 議案 1件(予算) 委員会審査 特別委員会 1件(指定管理者)
3/11	現地視察(工事予定箇所)
3/12	委員会審査 委員会 2件(条例・指定管理者)
3/13	委員会審査 特別委員会 1件(予算)
3/14	委員会審査 特別委員会 1件(指定管理者)
3/15	議案審議等 委員会報告 3件(条例・指定管理者・ 予算)、議案 8件(予算)、同意 2件(人 事)、各種報告などが行われ、閉会し ました。

総合計画に関する審査

本紙213号で既報の通り、「松田町総合計画審査特別委員会」を設置し、2月19日、22日及び3月7日に会議を開催して、町長・副町長・教育長以下各課長等が出席し、合計5回にわたる審査を行いました。

基本構想及び基本計画の具体的な実施計画であるアクションプログラムの説明・質疑応答等を章ごとに行うことにより、総合計画の全体像を捉えるとともに、実施に必要な財政推計の審査を重ねました。

質 女性活躍の成果目標として、合計特殊出生率を設定するのは適当でないと思うがどうか。

答 (政策推進課)

松田町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のKPIの目標

指標にも設定しており、また、基本計画においても将来人口フレームという基盤をつくっていることから設定させていただいた。

※KPI・目的を達成するための過程を計測するための中間目標となる指標のこと。

質 人件費のピークが2022年度で2017年度決算より約1億円増となっている。平成26年度機構改革の際に人件費抑制という条件があったと思うがどうか。

答 (総務課・政策推進課)

地方自治法の改正により、2020年度から会計年度任用職員制度が始まり、現在物件費である賃金で雇用している臨時職員が対象となり、人件費扱いとなるため増額となっている。増額相当分は物件費が減額となる。

松田町総合計画審査特別委員会報告書

本委員会は、平成30年12月7日及び平成31年1月21日に委員11名中10名出席、2月19日、2月22日及び3月7日に委員11名全員出席のもとに、役場4階大会議室で委員会を開催し、平成30年第4回議会定例会において付託された「議案第51号 松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画について」を、慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記**1. 審査の結果**

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2. 審査の内容

町長、副町長、教育長、課長級以上の全職員及び政策推進課担当職員出席のもと、2019年度から2026年度の8年間の松田町が目指すまちづくりの指針を定める松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画を、財政推計も合わせて詳細に審査しました。

松田町第6次総合計画は、松田町自治基本条例の理念に基づき、町民アンケート調査・ワークショップ・まちづくり団体とのヒアリング・パブリックコメント等を実施して現状と課題を分析し素案を作成し、更に松田町総合計画審議会に諮問をして策定したものです。

審査の結果、「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」という将来像を掲げた基本構想、その実現のための施策目標を定めた基本計画を、妥当なものと判断しました。

なお、次の項目について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

- (1) 事業実施に当たっては、財政状況を確認しながらPDCAサイクルにより評価・検証を徹底されたい。
- (2) 積極的な人口増加策を展開し、財源確保に努められたい。
- (3) 今後速やかに総合計画に基づく、健全財政の指標等を示されたい。

第6次総合計画基本構想及び基本計画について(討論)**反対討論****井上 栄一 議員**

私は、「議案第51号松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画について」反対の立場で討論を行います。

第6次総合計画基本構想及び基本計画は、これからの松田町の行財政運営の基本であり、松田町の計画の実現に向けた施策及び施策の進め方を示すものであります。

大規模事業としては、防災無線デジタル化事業や松田小学校整備事業を始め新松田駅前整備事業などが計画され、さらに町のインフラ等の公共施設整備計画もまだその全容が示されておりません。

そして、これら事業を実施していく財源は借入金であり、この起債に係る将来に向けての莫大な公債費の償還が町の財政負担として、この先20年から30年先まで待ち構えています。

しかしながら、今回改定されます第6次総合計画の審議では、これらの大規模事業を実施していくための財政

的な検討はほとんどされていないのか、第6次総合計画実施期間の財政指標の推計すら一部しか示されておりません。

議会として第6次総合計画基本構想及び基本計画を議決するにあたり、今後、総合計画の実施及び適切な財政運営を議会や町民がチェックしていくためには、これらに必要な財政推計が示されないことは、議会が議決した責任を全うするには不十分だと考えます。

総合計画の諸事業に基づく町の財政負担が、将来にわたって健全性を担保できるものなのか否かの判断が出来てこそ、松田町の将来を託せる総合計画基本構想・基本計画だと言えるのではないのでしょうか。

今後、速やかに総合計画に基づき、財政推計及び財政指標が示されることを要望として申し添えまして、本議案についての反対討論とさせていただきます。

賛成討論**飯田 一 議員**

私、飯田一は、「議案第51号松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画について」に賛成の立場から討論を行います。

この松田町を持続可能な魅力ある町とするため、第6次総合計画の策定においては、町民アンケートや座談会、各種団体ヒアリング、中学生のワークショップ、そしてパブリックコメント、松田町総合計画審議会の審議を経るなど町民各層の幅広い意見を集約し作成したものです。今後8年間の町の基本計画・基本構想の将来像である「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」を実現するため、松田小学校整備事業、新松田駅前整備事業など財政負担を伴う大きな事業も抱えています。今必要なものは、先送りすることなく、今行動を

起こさなければなりません。

第6次総合計画を着実に遂行することにより、福祉の向上を図り、豊かな自然を守り、また少子高齢化による人口減少、商業の衰退など負の部分克服し、各事業におけるPDCAサイクルのチェック機能とSDGsの理念をしっかりと推進することが、町民の期待するまちづくりにつながることと確信をいたします。

人を育て、町の賑いを取り戻し、協働・参加の社会をつくり、安心して未来へ“ツナグ”なければなりません。限られた行政資源を最大限有効活用されることを望み賛成討論とさせていただきます。

議員の皆様の賛同をよろしくお願いいたします。

一般会計予算の主な質疑

収支・財政

質 一般会計の中で、公債費の占める割合が増大している。財政見込み、財政推計、経常収支はどうなっているのか。

答 (政策推進課)

長期的なビジョンとして、松田小学校整備事業の公債費比率を踏まえ、2035年度15%、経常経費95・2%という推計であった。現在、財政推計は、総合計画の事業を見据え、新たな土地利用や町税外収入を見込み、再度推計をしている。歳出の抑制として、町民と痛みを分かち合うという観点から、補助金等の見直しや、今までの大きな事業は一時的に優先順位を定めて縮小も検討して

質 ハーブ館の赤字を西平畑公園駐車場の料金収入で補填するということがあったが、どういう取り決めになっているのか。

答 (観光経済課)

平成29年度指定管理者募集では、西平畑公園駐車場の収入全額をハーブ館の収入に入れると説明をしたが、平成30年度はハーブ館が町直営となったので、不足分を駐車場収入で補う形でやっている。また、次年度以降の指定管理者を募集する際には、駐車場収入全額をハーブ館収入に充て、町からの指定管理料を支出しない形で募集要項を作成する。

質 町税収入の減少傾向

について、今後の推移予測はどうなっているか。その対策として公有財産の使用料を増やすことが考えられるが、町民サービスの見直しになることを納得してもらえぬ努力が必要ではないか。

答 (税務課・政策推進課・教育課)

生産年齢人口減少により、毎年0・8%程度減収になる見込みである。町税外収入に取り組むことで収入全体的大幅な減少を抑える。公民館使用料の減免を見直す件はなかなか進まないが、団体個々の事情も考慮して次年度以降動き出す予定。

質 自主財源確保のためにも、財産運用収入や売却に取り組むべきではないか。遊休町有地の有効利用で土地使用料を確保して、守っていききたい土地は守り、処分していい土地は売却を図るが、売却益は臨時的財源なので、経常経費に使うのではな

く目的を持った基金に積んでいくべきではないか。

答 (副町長・総務課)

自販機の設定等の行政財産の目的外使用の収入を進めたい。町有地活用については、現在寄り番地は事業公募している。また、土地をお貸しして使用料収入を頂いている所も、売却の可能性もある。現在有効利用していない土地もある。それぞれ活用に取り組み、売却ということになれば、それに必要な事業費に充

てたり、目的を持った基金に積む。

質 社会福祉協議会に全額人件費の補助金を出しているが、全額出すことがいいのか。

答 (副町長)

稼いでいただくことを念頭に、いかに補助金を削減できるかという方策は、担当課を含めて早急に検討しなければいけないという問題は意識している。

あるが対策は。

答 (副町長・総務課)

人件費については、32年度より国の「働き方改革」に基づき、会計年度任用職員制度が始まる。それに伴い、物件費の賃金から人件費へ組変わることで、人件費の増加、賃金の減少が見込まれる。また、再任用職員の採用、時間外手当抑制のためフレックスタイムの利用促進等行政改革が必要である。

質 人件費は上昇傾向に

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

歳入は、自主財源の根幹である町税が減少傾向にあるので、新たな財源の確保に引き続き取り組む必要があります。

歳出は、新たに始まる松田町第6次総合計画に基づき予算編成をされ、魅力あるまちづくりに取り組んでいます。厳しい予算編成となっています。

これらのことを踏まえ、次の事項について強く申し入れをして賛成することとしました。

- (1) 平成31年度大型事業については、詳細な財政推計を示してから執行されたい。
- (2) 遊休町有地を活用した人口増加策に努めるとともに、町有地売却収入は、基金等に積み増しをされたい。
- (3) 地方創生事業の委託料の中に改修費が含まれているので、投資的事業と区分して執行されたい。

安全・定住

質 防災行政無線のデジタル化の改修工事について、難聴地域への対応は。

答 (安全防災担当室)

難聴地域は5地区存在し、個別受信機を無償で配布している。個人的に必要な方は補助金を活用していただく。

質 ドライブレコーダー設置費補助金の30万円は、どのように利用するのか。

答 (安全防災担当室)

1件当たり補助金5万円を上限として、3分の1補助でと思っています。

質 防犯カメラ、新規3機の設置場所は。

答 (安全防災担当室)

宮下児童公園と中屋敷児童公園、弥勒寺の5分団詰所あたりです。

質 女性が輝き活躍するまちづくり推進事業委託料1千万円、創生拠点施

設運営委託料2千2百万円の内容は。

答 (定住少子化担当室)

前段は、地域商社の設立を目的とした団体の育成、起業家やフリーランスの育成等の支援を行うもので、後段は、民間活力を生かした運営事業者を誘致し、指定管理者と連携しながら実施していくものです。

質 定住少子化対策支援事業は前年より減額されている。理由は。

答 (定住少子化担当室)

YHV推進協議会が国から交付金を受けて実施する農山漁村振興推進計画にある、民泊の受入検討や空き家活用モデルの構築といったプログラムを活用し実施していくため、本事業は減額となっている。

質 小児医療助成費は0歳から中学校卒業までの自己負担額に対して助成をする事業だが、0歳から小学校卒業までに制度を変える考えは。

答 (子育て健康課)

年齢が小さい子ほど医療費がかかるというのが現実であり、神奈川県内の自治体のほとんどが中学生までとなっているため、現状の0歳から中学生までとしたい。

質 足柄上地区のごみ処理施設整備は新しく広域行政が始まるが、処理施設の稼働と、東部清掃組合の施設の様子は。

答 (環境上下水道課)

平成31年度の準備室設置以降、施設の準備計画、生活環境影響調査等踏まえ、概ね37、38年度位に施設建設、39、40年度位に稼働といったスケジュールになっている。東部清掃組合の現施設は概ね10年間は維持できると聞いている。

産業・教育・その他

質 耕作放棄地対策補助金の対象者は。

答 (観光経済課)

耕作放棄地と認められた地に対し、農地法による許可を受け3年以上の賃貸契約を行っている農業者・団体及び農地購入者を予定している。

質 特産品開発事業補助金は、事業継続であれば毎年支給されるのか。補助金支給後の追跡調査はされているか。

答 (観光経済課)

同一事業に対し、3年間まで支給できる。ごという状況で売られているか、販路など追跡調査をしている。

質 農泊事業の目的は。

答 (観光経済課)

YHV事業として、寄地区の活性化を目指している。

の未来を育む観点から支援するものです。

質 寄幼稚園の今後について、保護者の考え方を捉えているか。保育園との統合・幼保一元化又は認定こども園等含めた考え方は。

答 (教育課)

認定こども園等含めた考え方は。認定こども園等含めた考え方は。

質 文化芸術鑑賞事業について、文部科学省が育成事業で全国を回って無料鑑賞することができ、この事業を活用し、予算を見直す考えは。

答 (教育課)

昨年度文化庁の事業で行った。2年連続は難しい部分もあるかと思うが、事業利用を考えたい。

質 未来トップランナー育成応援助成金の今年度の利用状況とスーパークラブ育成団体助成金の内容は。

答 (教育課)

前段は、文化芸術活動やスポーツ活動の活躍が顕著である者等を対象に保護者の経済的負担の軽減を図るための制度で、今年度15人の名前が挙がっています。後段は小学生のスポーツ・文化団体の育成振興をし、子供達

保護者との直接会話の必要性を痛感しています。小学校・松田幼稚園との交流も昨年以上に積極的に行ってまいりたい。

質 第21回桜まつりで協力を徴収したが、町有財産である公園で、観光協会に委託して実施している。協力は町の収入ではないか。

答 (観光経済課)

桜まつりの運営費及び桜の延命・育成を図る目的で協力いただいたものであり、観光協会の収入となるので、町予算の歳入として計上していない。入園料ならば条例化して町の収入となる。

平成31年度松田町一般会計予算について(討論)

反対討論

小澤 啓司 議員

平成31年度の一般会計予算案の中に、小学校設計委託料が含まれていることから、反対の立場で討論を行います。

我が国経済の将来予測において、消費税増税による消費不況と貿易摩擦や人口減少による経済成長の鈍化は、長期にわたり継続するおそれがあります。

町の平成31年度一般会計予算書からも、町税の減少傾向や物件費に占める賃金の上昇、委託料の大幅増加など財政の硬直化が進んでいます。

自主財源率も45%に落ち込み、自律的な行政運営に陰りが見えています。人口問題研究所の資料からも、2040年には松田町の人口が7,300人と予測され、中でも小学生の人口は、寄地区を合わせ現在の416人から252人、40%の減に、生産年齢人口は5,865人から3,503人、48%の減になるとされています。

長期的な視点で見ると、町税収入の減少により財政規模は大きく縮小し、高齢化による扶助費の増加と併せ財務内容の悪化が予測されています。このような状況下にある中で、町は町民の要望があるとして、当初計画に沿って小学校建設と新松田駅周辺整備事業を、今年度から2026年を目途として短期間のうちに実施しようとしています。

これら事業費の総額は約45億円、借入金総額は約

26億円に上り、返済期間は25年を要します。毎年の元利返済額は示されていますが、判断資料として最も重要な町税収入の見込み額や、返済財源の原資については説明がありません。

小学校建設や駅周辺整備は松田町にとって、長年の懸案であったことから賛成致しますが、町財政規模を大きく超えた借入金や返済財源を示せない、事業ありきの計画は、長期間にわたって財務悪化と町民サービスの低下が予見され、この予算案に賛成することはできません。

事業実施の前段として、返済財源の確保が急務であり、その為にも停滞していた行財政改革を敢行し、年間事業計画の洗い直しや組織改編による人件費の削減、各種団体への補助金見直し、受益者負担の原則を徹底するなど、経費の削減と税外収入の増加策を示すべきです。

また、これら事業は町民への負担が長期間にわたって継続するおそれがあり、丁寧な説明と町民の理解が得られなければなりません。

事業には基本的に賛成いたしますが、事業規模、実施時期の見直しと返済財源について具体的に明示されることを強く要請いたします。

議員の皆様には、今置かれた現状から目をそらすことなく、真剣に討議されることを願います。

賛成討論

田代 実 議員

予算審査特別委員会報告に、賛成の立場で討論を行います。

前提といたしまして、昨年12月の第4回定例会で審査した平成30年度一般会計補正予算第6号「松田小学校等整備事業」の総事業費31億6,700万円(校舎建替え28億9,600万円、小学校入口の町道3号線改良2億7,100万円)、その財源の多くを町債24億円余(その後、国庫補助と基金繰入増で19億円余に変更)に委ねていることが賛否の論点となり、賛成多数で可決した経緯があります。

そして、新年度予算の審査では町税収入が減少傾向で推移するなか、この事業による新たな元利償還金が2026年度から年1億300万円となり、後年度の財政を圧迫するため設計段階で規模を見直し、事業費を縮小するか否かが争点となっています。

松田小学校建替えにかかる大規模事業は、2019年度から2022年度までの4か年にわたるものです。そして、小学校の入口に通じる町道3号線が非常に狭いため、登下校時の児童や地域住民の安全を確保する目的で、現道4mの幅員を7m(歩道2m・車道5m)への拡幅工事が計画されています。この町道は、本来であれば相当以前に完了すべき事業ではなかったのでしょうか。

町が優先すべき事業は義務教育施設の整備と運営、町民の福祉向上です。松田小学校建替えは、義務教育施設の整備にとどまらず、学童保育や放課後教室、地域の方の学びの場、さらに災害時の避難所や災害備蓄倉庫も備えた「町民のための防災拠点」という側面もあります。児童数に見合う規模と地域に開放され災害時の拠点施設の整備には、19億円余は必要な町債(借金)です。この町債を少しでも減とするため、町はクラウドファンディング型ふるさと納税の呼びかけを行います。公債費比率は一時的に11%となり財政状況は厳しくなりますが、町の体力から福祉の質を低下させずに乗り越えることができる数値であり、子や孫に誇れるレガシーとなるものと確信しています。

平成31年度予算は、この4月からスタートする第6次総合計画に基づき新規事業も加えて編成されています。しかしながら、歳入面では大変厳しい状況にありますので、大型事業執行に伴う詳細な財政推計を示すことや、町有地売払収入の基金積み増しなどの条件を付して、一般会計予算に賛成しました。

議員各位におかれましては、この趣旨を十分に理解していただき、ご賛同くださるようお願いいたします。

産業厚生常任委員会で審査した議案

議案第1号 松田町新松田駅周辺整備基金条例

こととなりました。

この議案は、新松田駅周辺基本構想・基本計画に基づく事業推進が図られるよう、町負担分の財源を段階的に確保するために、地方自治法第24

主な議論の概要
質 予定している全体事業の期間、事業費及び基金との関係はどうなっているか。

1条第1項の規定に基づき基金を設置するため、3月7日に上程され、産業厚生常任委員会に付託されました。

答 (まちづくり課)
 2023年度から2026年度に駅前広場整備
 2026年度から2027年度に集約施設整備、その後南北自由通路等を予定している。

3月12日に審査を開始し、関係課長等が出席し、新松田駅周辺基本構想・基本計画の基本方針、事業スケジュール、レイアウト、事業費、基金積み立てのための原資の捻出方法等について議論をした。

事業費は、町が関わる部分で49億円、町負担額として15億4660万円、町負担額のうち、起債13億2945万円、一般財源2億1715万円と試算している。
 基金積み立ては、2019年度から毎年3千万円13年間を予定し、一般財源分等に充当する。

新松田駅周辺整備事業を含めた財政推計の提示を求め、引き続き、議会閉会中の継続審査をする



現在の駅前

総務文教常任委員会で審査した議案

議案第8号 松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定について

この議案は、3月7日に上程され、総務文教常任委員会に付託されました。委員会は、3月8日、12日と14日に開催され、町長、副町長、担当課長等出席のもと、指定

議案第8号 松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定について

総務文教常任委員会報告書(抜粋)

町長、副町長、政策推進課長及び定住少子化担当室職員出席のもと、指定管理者の候補者選定の経緯、事業計画、管理体制、収支計画等を詳細に審査しました。

地方創生推進交付金を活用して改修した旧松田土木事務所を創生推進拠点施設として、平成31年4月1日から5年間、指定管理者として運営するもので、会員の確保、ランドリー・カフェ等のテナント誘致、マルシェ事業等を地域と連携し進める事業計画でした。

当町では、この種の事業は初めてですが、地域活性化に積極的な女性や若者を育成し、地方創生に寄与することが期待できる事業と判断しました。

また、町へ家賃収入として今後5年間で2,744万円の歳入が見込まれ、自主財源の確保にも貢献するものと思われます。

審査の結果、次の3点について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

- (1) 指定管理者と事業運営について、定期的に協議を行うこと。
- (2) テナントの出店状況を常に把握し、満室になるよう町も心掛けること。
- (3) 協定書の内容は、責任の所在と施設利用期間を明記すること。

本会議では、総務文教常任委員会の報告書のとおり、賛成全員で可決されました。

指定管理者の概要

名称 特定非営利活動法人松田活性化協会
 指定の期間 平成31年4月1日から平成36年3月31日まで(5年間)



松田町創生推進拠点施設の外観

条例・補正予算・同意など

▼専決処分の承認を求めることについて（平成30年度松田町一般会計補正予算（第8号））

一般会計補正予算（第8号）は、歳入歳出それぞれ280万円を追加し、予算総額を51億3085万2千円とするものです。町民文化センターの利活用の促進を図るため、自主事業の経費を計上し、平成31年1月25日に専決処分をした補正予算の承認を受けるものです。

▼松田町新松田駅周辺整備基金条例

新松田駅周辺整備事業に資するため、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、松田町新松田駅周辺整備基金を設置するため、条例を制定するものです。

なお、産業厚生常任委員会へ付託し、閉会中の

継続審査となりました。（審議内容等は7ページ参照）

▼松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の一部を改正する人事院規則の公布に伴い、超過勤務命令の上限時間等について所要の改正をするものです。

▼松田町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、法人町民税の税率及び軽自動車税に関する名称の変更等の改正をするものです。

▼松田町有施設使用条例等の一部を改正する条例

松田町立中学校が平成30年度末をもって閉校し、統合するため、所要の改正をするものです。

▼松田町布設工事監督者

の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例

学校教育法及び技術士法施行規則の一部改正に伴い、条例の引用部分等について所要の改正をするものです。

▼松田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付利率等について所要の改正をするものです。

▼松田町消防団条例の一部を改正する条例

機能別消防団員を配備することに伴い、定員等について所要の改正をするものです。

▼松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定について（総務文教常任委員会報告）

旧神奈川県松田土木事務所庁舎等を活用して整

備した松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定をするもので、総務文教常任委員会に付託され、審査の結果、賛成全員で報告がされました。（審議内容等は7ページ参照）

▼松田町一般会計補正予算（第9号）

一般会計補正予算（第9号）は、歳入歳出それぞれ1億8171万8千円を減額し、予算総額を49億4913万4千円とするものです。

主な内容は、事業費の確定等に伴う補正、繰越明許費及び地方債の補正をするものです。

▼松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）は、歳入歳出それぞれ1122万5千円を追加し、予算総額を15億1006万4千円とするものです。

主な内容は、保険給付費の上昇等に伴う補正を

するものです。▼松田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出それぞれ146万4千円を減額し、予算総額を1億733万6千円とするものです。

主な内容は、事業費の確定等に伴う補正をするものです。

▼松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画について（総合計画審査特別委員会報告）

平成30年第4回定例会で提案されたもので、2019年度から2026年度までの8年間の地域全体の総合的・効率的な行財政運営を図るための基本となる基本構想及び基本計画について、総合計画審査特別委員会に付託され、審査の結果、賛成多数で報告がされました。（審議内容等は2・3ページ参照）

▼人権擁護委員の推薦について

委員の任期が満了となるため、次の方が同意されました。

飯田昌之氏

▼教育委員会教育長の任命について

3月31日をもって教育長が辞職することとなったため、次の方が同意されました。

浄泉和幸氏

審議の結果

採決の結果は、9ページをご覧ください。



議案審議結果一覧

第1回定例会(3月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 承…承認 同…同意 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	平野	田代	井上	南雲	飯田	利根	小澤	石内	齋藤	鈴木	大館
				由里子	実	栄一	まさ子	一	川茂	啓司	浩	永	眞徳	秀孝
承認 1	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度松田町一般会計補正予算(第8号))		承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 1	松田町新松田駅周辺整備基金条例		産業厚生常任委員会へ付託・継続審査											
2	松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	松田町税条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	松田町有施設使用条例等の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	松田町布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	松田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	松田町消防団条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定について(総務文教常任委員会報告)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	平成30年度松田町一般会計補正予算(第9号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	平成30年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成30年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	松田町第6次総合計画基本構想及び基本計画について(松田町総合計画審査特別委員会報告)		可	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○
12	平成31年度松田町一般会計予算(一般会計予算審査特別委員会報告)		可	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
13	平成31年度松田町国民健康保険事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	平成31年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成31年度松田町上水道事業会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成31年度松田町寄簡易水道事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成31年度松田町下水道事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成31年度松田町介護保険事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成31年度松田町用地取得特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成31年度松田町後期高齢者医療特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 1	人権擁護委員の推薦について		同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	教育委員会教育長の任命について		同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 中野博議長は、採決には加わらない。

※ 議案第1号は、産業厚生常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査となり採決は行っていない。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

児童虐待防止の対応は！



質問者
利根川 茂 議員

昨年は、東京都目黒区で、また今年に入り千葉県野田市において、児童が悲惨な虐待死に追い込まれました。

児童虐待防止法の施行以来、市町村においても児童相談員が配置されるようになり、本町にも担当課にいられます。私も町職員在職中に4件の諸課題に対応した記憶があります。

県小田原児童相談所を中心に関係機関が連携をされ、活動を進めておられると思いますが、現在の対応状況を町長より説明してください。



A
地域・保育所・幼稚園
小中学校との
連携を強化
回答（町長）



本町においては、担当課に児童相談員を雇用し、要保護児童対策地域協議会の事務や相談、ケース訪問等の対応をしている。幼稚園・小学校・中学校等で虐待を発見した場合、県小田原児童相談所・教育委員会・子育て健康課等で連携して対応している。

近年、全国的に児童虐待が増加していますが、

虐待は家庭内で行われていることが多く、今後とも関係機関が連携しながら、早期発見と効果的対応を図ることが、極めて重要である。

子ども達の明るい未来を守るために、児童虐待の防止・予防・発見に取り組んでいく。

松田町の今後の財政状況について問う



質問者
井上 栄一 議員

この3月議会において第6次総合計画の議決、平成31年度予算が編成され上程されます。

平成30年度で債務負担行為補正された町の大規模事業である松田小学校整備事業や、総合計画における今後の整備事業及び新松田駅前整備事業など、実施していかなくてはならない事業により、総合計画の財政推計及び31年度以降の予算編成は大変厳しい状況になると推測される

A

町民が安心して暮らせるような町政運営を
回答（町長）



であります。そこで、松田町の財政状況の推移、今後の見込みはどうなっていくのか、また今後の町財政は健全性が担保されていくのか、お伺いいたします。

総合計画の将来像「いのち育み 未来へツナグ 進化つづける 故郷」の実現に向けた中長期的な取り組みを実行し、直面している諸課題に対応し、持続発展していくために町民ニーズを捉え、町民の笑顔あふれる幸せのまち松田に向け効果的かつ効果的な施策を展開していく。

今後の町政運営について、財政面からは、町有未利用地の売却等の計画も立てなくてはいけない。町の将来人口の構造が変化している。町税収入が増えるとか活気が高まるなど期待もできる。

これらを町民にご理解いただけるように、また安心して暮らせるように町政運営の内容や財政推計等を示していきたい。



新松田駅北口の現況

財政推計を問う



質問者
小澤 啓司 議員

松田小学校の建設と新松田駅周辺整備事業は、当町創設以来最大規模になります。

(2) 新松田駅周辺整備事業の1期対象区域と事業内容について説明を求めます。

事業規模は適切か、返済財源の確保はできているか、下記について質問します。

(3) これら事業の執行は、財政負担が大きく、町民生活に長期にわたって大きな影響を与える恐れがあります。返済財源の確保は、どのように計画されていますか。

(1) 最大720人規模の小学校建設は、人口減少が進行する中で再考できませんか。

A

持続可能な町づくりを推進する 回答(町長)



(1) 建築規模は、将来同一敷地内で小中一貫校ができるよう計画している。1教室35人定員とすれば18教室は必要です。
(2) 駅周辺整備計画には、道路拡幅・駅前広場整備・集約施設建設(駅ビ

ル)・橋上駅舎化などがあるが、交通混雑解消のために駅前広場整備から計画している。事業費は14億円、町債発行は5・7億円程を予定している。
(3) これら2つの事業は町民ニーズが高く、町の持続的発展を目指して計画している。収入財源として、行財政改革を推進し人件費の抑制を図ると共に、地方創生推進事業による施設利用料収入、健康寿命の延伸による歳出抑制、町税外収入や町有地の活用促進等に取り組んでいく。

めにも、空家の積極的な活用が必要と考えます。そこで、次の点についてお伺いします。

(1) 当町での空家戸数と空家率、空家バンク登録状況と利用状況について
(2) 空家は、程度によって様々だと思いますが、空家及び空家バンクの整備と活用について。
(3) 東京2020を控え、観光客を含めたインバウンド需要が見込まれます。空家を活用し宿泊施設としての利用、子育て世代の移住など、空家の活用について。



A

空家・空地対策に積極的に取り組む 回答(町長)



(1) 空家バンクの登録状況は累計で101件、現在の掲載数21件、成約件

数は5年間で61件となっている。現在は空室しか登録がないが、積極的に空家情報を収集し空家対策に取り組みたい。
(2) 移住・定住に繋げる事業でもあり、町外から人を呼び込むために、周知活動を進め、子育て世代等の移住・定住に取り組む。
(3) 地域資源でもある空家は、活用方法によっては大きな財源となり、子育て世代の移住・定住に繋がると認識している。空家については、所有者の意向を踏まえ、確認を取った上で連携協力を行い、民泊・農泊という制度の活用や、ふるさと納税にもつなげていきたい。また、空家のみならず空地等の活用へも、積極的に取り組んでいく。

空家の有効活用について



質問者
飯田 一 議員

当町では、松田地区、寄地区を問わず人口減少が続いているにも拘わらず、世帯数は増加してい

ます。世帯の高齢化が進み、今後は空家が益々増加することが想定されます。町の活性化を図るた

駅利用者の安全・安心を確保した新松田駅北口駅前広場(イメージ)

プラごみゼロ宣言は松田の おいしい水をアピールする好機



質問者
平野 由里子 議員

松田町の乾杯条例は、

お酒だけでなくミカンジュースもお茶も、そもそも水も、ということでお酒を飲めない方々にとっても好評です。1月下旬には、足柄茶を松田の水でおいしく入れるイベントが開催され、多くの参加者を集め反響を呼びました。

そのイベントで、マイクロプラスチックについて講義があったと聞いています。おいしい水をこの先もずっと守るためにも、またプラごみ削減のためにも、プラスチックについて、町の取り組みをお伺いします。

(1) プラごみリサイクルの現状は？

(2) 国も県もキャンペーンを行っていますますが、町としての対応は？

(3) 松田のおいしい水をアピールするためにも、マイボトル給水器を設置してはいかがでしょうか？

A
プラごみ削減に
取り組み、美味
しい水を守る
回答 (町長)



(1) リサイクルの対象となる容器包装プラスチックを、松田町は平成29年度に約78トン排出しており、収集された後、川崎



分別後、圧縮梱包されたプラスチック

の製鉄所に送られ高炉で高熱処理され、主としてコークス燃料や発電用ガスに分解されている。

(2) 当町でも、かながわプラごみゼロ宣言への賛

松田町始まって以来の大規模プロジェクト、松田小学校の木造校舎建設事業が始まりましたが、その財源の負担は厳しい状況にあります。議会で



質問者
田代 実 議員

松田小木造校舎の建設費、 全国の方に呼びかけを！

同を前向きに検討し、マイバッグ・マイボトル持参、リユース食器や再生可能な素材の食器の使用、川から海にプラスチックごみを流さないなど、マイクロプラスチック問題に対する啓発活動を進める。

(3) マイボトル給水器は

予算化されていないが、公共施設や町内の協力店舗を募り、給水スポットを確保したい。SDGsも踏まえて水環境の保全に取り組んでいく。

は、町債を少しでも減とすためインターネットやマスコミを介し、建設資金を調達する「クラウドファンディング型ふるさと納税」の推進を条件

の一つに賛成しました。

先般、この事業に町民の方(匿名)から1000万円の寄付があったそうです。町民を始め松田出身者や交流事業により強い愛着を持たれている方など、「隠れ松田ファン」が全国に多いと推察します。

そこで、資金調達に関する今後の展開や寄付をされた方への対応について、町長の考えをお伺いします。

A
「郷土愛」をキーワードに全国へ
周知していく
回答 (町長)



試験的に、29万人いると言われる「松田」姓の方を対象に、有名な企業と連携して女性活躍推進事業に関するクラウドファンディングを開始する。

同様に、松田小の木造校舎建設への寄付は、「郷土愛」というキーワードを掲げ、松田町を多くの方々に知っていただくための貴重な場となるので、周知していく。

クラウドファンディングは、地域やその取組を応援していただくのが最大の目的であるので、魅力的な町づくりを、多数の方と協働・連携協力していきたい。また、寄附をされた方には、ご意向によりお名前を残す方法を検討したい。

※クラウドファンディング…不特定多数の方から、目的を持って資金を集めること。



松田小学校の外観

中心市街地の活性化について



質問者
齋藤 永 議員

中心市街地の活性化は、町民が希望することの第一番目だとお聞きしております。特に駅前開発は、当町にとって重要かつ不可欠なことと認識しております。駅はまちの顔、新松田駅周辺及び松田駅周辺を未来的、魅力的に整備することが、今後の松田町の賑わいを取り戻す起爆剤になると考えます。

総合計画の中にも新松



新松田駅周辺整備のイメージ図

田駅周辺整備等のこと

が盛り込まれています。が、実現可能な事業ですか、どんな課題がありますか、公共交通機関及び周辺企業・地域住民とのコンセンサスは取れますか？

今後どのように進めていくか、お伺いいたします。

A
協議会や説明会を開催し、協議・調整を進めていく

回答（町長）



この事業の課題は、用地買収を伴う事業である

ため権利者の方々のご協力を得ること、小田急線新松田駅の南北の駅前広場・南北自由通路・橋上駅舎化など鉄道事業者との協議、再開発組合施行に向けた準備組合の設立や都市計画決定の手続き等がある。

公共交通機関の6事業者とは、協議会や部会等での協議を進めており、権利者の皆さまには、協議会での進捗の説明や意見交換会やアンケート調

査を実施し、一定のご理解をいただいていると考える。

今後、勉強会や検討会を実施し、民間事業者へのアプローチや再開発準備組合設立、都市計画決定の協議・調整を進めていく。財源確保に関しては、国・県の補助金を最大限に活用するため「立地適正化計画」を策定するとともに、基金条例を提出させていただいた。

高齢者施策の充実のために



質問者
南雲 まさ子 議員

本町では「元氣あふれ心かよう 長寿を喜ぶまち」を目指し、さまざまな高齢者施策を講じています。そこで、次のことを伺います。

(1) 健康福祉センターを

整備し、高齢者の居場所づくりを充実させることになりました。今後、町民を交えた話し合いの場を設け、新たなサークル等にも呼びかけ、社会参加の枠を広げながら、居

場所づくりの拡充をしてはいかがでしょうか。

(2) 誰もが迎える死を見据え、ご家族等に最期をどのように迎えたいかを伝える一助としてエンディングノートがあります。本町では、終活セミナーでエンディングノートを配布しましたが、多くの方に活用していただくために、未配付の方にお渡しする工夫が必要と思えますがお考えは。

A
高齢者の生きがいづくりのために

回答（町長）



(1) 自宅から外に出る機会が極端に少ないと、精神的・身体的にも悪影響を及ぼすとされているので、外出する機会の提供や仕組みが必要となる。その取り組みとして、シ



エンディングノート

ニアクラブ松田との協働で、健康福祉センターを、趣味や娯楽を中心とした居場所としていきたい。各種グループ、サークル、地域の茶の間、ボランティアグループ等の活動の場が居場所となっており、担当者と連携を密にして継続できるようにしていきたい。

(2) エンディングノートは、万が一の時に家族への負担を減らしたり、遺される人へのメッセージなどを書いておくノートである。セミナーの参加者等に今まで280冊配付している。未配付の方は、広報等で周知し希望者へ配付していきたい。

平成31年度予算と 総合計画について問う



質問者
大館 秀孝 議員

平成31年度予算編成は、第6次総合計画と重なり大変ハードなことだったと推察いたします。総合計画の中でも大きな事業計画が組まれています。計画を実現させるには、多大な財源が必要です。歳入を増やすための方策について、次の3点をお伺いいたします。

- (1) 荒廃農地を活用した起業誘導計画は？
- (2) 稼げる公共施設利用

- (1) 荒廃農地対策は、町

各種事業を展開し増収を計っていく
回答 (町長)



- は？
- (3) YHV事業のさらなる推進計画は？



寄7つ星カフェの外観

総合計画で新規に耕作する担い手の確保を推進する。荒廃地の有効活用を進め、農地を集積・集約するため、人・農地プランを策定し、ビジネスとしての農業への起業として、農作物の生産・食品加工・流通及び販売を展開することにより6次産業化を推進する。

(2) 西平畑公園は、経営の安定化を図るために、ターゲットを明確化した事業展開をしていく。町民文化センターは、定期的なイベント実施や自主事業の開催、専用のホームページを立ち上げて発信する等、各種公共施設が稼げる施設となるような取り組みを進める。

(3) 寄地域を活性化するため、各種体験事業をはじめ地域と連携した民泊事業、ジビエの料理教室及び解体体験会等を計画している。これまでのYHV事業での実績をもとに、更に進化するように各事業に取り組んでいく。

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....



3月25日松田中学校開校式
(相原英夫校長から校旗が返納されました。)



3月10日寄中学校開校式
(植松さとみ校長から校旗が返納されました。)



4月5日松田中学校開校式
(新しい校旗が川上達夫校長に授与されました。)

議員行政視察報告

平成31年2月12日(火)から13日(水)に、議員7名により、静岡県南伊豆町の「サテライトオフィス誘致事業」と松崎町の「交流拠点施設ふれあいーふや。」の行政視察をしましたので、その概要を報告します。
参加議員 鈴木真徳・利根川茂・中野博・南雲まこと・井上栄一・田代実・平野由里子

誘致戦略

誘致を推進するため民間人の「コンシェルジュ(世話人・馴染ませ役)」を設け、民間企業と行政を馴染ませる役割を果たしている。

お試し企業の受入れ

企業への誘致戦略は、視察行程表の作成・宿泊交通費の負担、南伊豆関係者との交流として地域の祭りイベントへの招待など地方創生交付金を財源として実施。

期待する効果

サテライトオフィスを「滞在型オフィス(古民家や空き家などリノベーションしたオフィスに常駐)」と「循環型オフィス(シェアオフィスなどを利用し都市と地方を行き来)」に分け、それぞれの効果を狙った。

松崎町交流拠点施設「ふれあいーふや。」

松崎町も空家活用と雇用創出をめざした事業を展開している。平成27年度、地方創生交付金を活用して元豆腐屋を改修し、コピー機やテレビモニター、Wifiなどを完備したコワーキングスペースを開設。運営は町直営で、実際の管理は地域おこし協力隊が担う。

当初考えていた企業誘致は容易ではなく、地域住民が使って活性化に供することをメインに考え直し、使用料は低めに設定した。現在登録団体は

5つ。東京のIT企業が協賛会員となって、若手社員が松崎に移住し精力的に活動し、会社やNPOを立ち上げた。すると他にも移住者が現れ、観光人力車を復活した。訪問した日はちょうど町と連携している静岡大学がゼミに使っていた。

もう一つの古民家拠点、伊豆文邸も案内していた。ここ「ふや。」の登録団体でもある女性グループによるイベントが開催中だった。アートの町の史跡をアピールするセンスの良い企画で、会員は松崎町の魅力に惹かれて移住してきた女性ばかりらしい。



松崎町役場前

また、古民家改修は質を求めると新築以上にお金がかかるが、四国の神山町では十分お金をかけてリノベーションして事業誘致に成功している、という事例を教えてください。目標をどこに定めるかをよく検討すべきである。

「稼ぐ施設」と「町民のための施設」

担当職員によれば、町の姿勢として「稼ぐ施設」と「町民のための施設」をどう考えるかが問題だという。費用対効果

松田町で進めている県土木跡地利用や寄の古民家再生事業にとって示唆に富む視察となった。
(記 平野由里子)



静岡県

松崎町
南伊豆町



農業委員会の活動について

松田町農業委員会会長 吉田 輝夫さん(城山在住)

○農業委員会の活動

農業委員会制度の歴史は長く、戦後、1951年に「農業委員会等に関する法律」、1952年に「農地法」が制定された歴史ある組織であり、農地法等に基づき農地に関する事務を執行する行政委員会として設置されております。本町の農業委員会は、特に、「地域の農地を守り、活かす農業委員会活動」を基本とし活動を行っています。

現在、農業委員は、平成29年7月より3年間の任期で、松田地区4名、寄地区4名の計8名で活動しています。

本町の農地（農業振興地域）は、中山間地域が多く、専業農家の減少、農業者の世代交代による後継者不足、鳥獣被害等により農地が減少しつつあります。

平成30年度は、農地の現状を把握するため、農地パトロールを11月から1月にかけて実施しました。航空写真と農地データを基に、実際に現地を訪れ、農地を「A. 営農を行っている農地、B. 周辺の農地より著しく劣っている農地、C. 遊休農地だが農地に戻すことが可能、D. 農地へ戻すことが不可能」の4段階の区分に分けました。その結果として、耕作放棄地の多さがひしひしと伝わり、深刻化していることを改めて実感しました。

また、農地を10年後、20年後守っていくには、どのようにしていったらよいかという課



農地パトロールの様子

題に対して、国の政策である「人・農地プラン」を、寄地区を対象として策定いたしました。

「人・農地プラン」は、集落・地域において近い将来の地域農業の姿や、あり方について話し合いを行い、人と農地の問題を一体的に解決していくためのプランです。寄地区の「人・農地プラン」には中心経営体となる農業者が3件登録されており、そのうち2件は認定農業者による露地野菜の栽培と、認定新規就農者によるお茶の栽培、もう1件は椎茸栽培を中心とした活動をされています。この「人・農地プラン」を通じて、地域農業が活性化される

ことを期待しています。

今後は、松田地区においても「人・農地プラン」の策定を推進していきます。まずは、松田地区（農業振興地域）内で耕作されている全農家を対象にアンケート調査を実施いたします。10年後、20年後、地域の農地はどのようになっているか、真剣に考えてみてください。アンケートの回答を基に、地域の皆さんに話し合いを行ってもらい、「人・農地プラン」の策定を進めていきます。

最後に、これからも様々な角度から地域農業の課題に対応し、地域農業に必要な農業委員会として活動をして参りますので、町民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第2回定例会は6月12日(水)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	議長	議会広報広聴常任委員会
大員	齋藤	小澤	中野	飯田	平野	由里子
秀孝	永	啓司	博	一		

元号が改まり最初の議会日よりです。再び新年を迎えたかのような賑やかさも落ち着いた頃かと思えます。テレビで平成を振り返る番組が多かったおかげで、主だった出来事と、自分がその頃どうだったかを、今一度思い出すこととなりました。

松田町では、と言えば平成元年に町民憲章が制定されています。住民自治基本条例制定は昨年度でしたので、平成の最初と最後に町の基本姿勢を明文化したことになります。松田町議会は、これらの基本姿勢に鑑み、令和の時代もまちづくりの一端を担ってゆきます。(平野)